工業つ子

No. 170
—発行日—
2018.08.09
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

磨き上げた技術輝く

最優秀賞３部門入賞
自動車整備 電子回路 電気工事

H30年度 高校生ものづくりコンテスト県大会

六月十六日に行われた高校生ものづくりコンテスト県大会。長崎工業、島原工業、長崎高等技術専門校で競技が行われました。本校からは、十五名が出場。各部門の結果を紹介します。

臨機応変な対応で賞を掴んだ
最優秀賞 優秀賞 自動車整備部門

長崎高等技術専門校にて行われた自動車整備部門。長工からは、M3松本翔さんとM2高崎海音さんが出場しました。競技の内容は学科試験、測定作業、定期点検／車両取扱作業、エンジン故障探求作業の四つがあり、ローテーションで順番に各選手が取り組みます。

▲最優秀賞の高崎さん

▲優秀賞の松本さん

▲努力が導いた成績

自動車整備部門

優秀賞の高崎さんは「練習時間の姿がありました。

競技を終え、結果は高崎さんが最優秀賞、松本さんが優秀賞でした。最優秀賞の高崎さんは七月八日に沖縄県で行われた九州大会も出場しました。表彰後、最優秀賞を受賞した高崎さんは「練習どおりにはいかなかったが、最優秀賞をとれて嬉しかった。九州大会では昨年度の先輩が一位をとれなかったので、私がリベンジしたい」と次の九州大会に向けて闘志を燃やしていました。松本さんは「学科試験の成績が良かった。最優秀賞を後輩にとられて悔しいが、気持ちを切り替えて今後はサポートしていきたい」とのこと。これまで指導してこられた藤武先生は「課題は事前に知らされないので、本番で臨機応変に対応していかなければいけない。その中で上手く対応していた。良い出来だった」と話してくださいました。

練習の成果を作品へ
最優秀賞 優良賞 電気工事部門

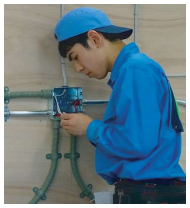
島原工業高校にて行われた、電気工事部門。本校からはE3薮田進乃介さん、E3松尾耕大さんの二名が出場しました。会場内は緊迫した空気が流れており、どの選手も真剣な表情をしていました。本校の選手の様子を見ていた生徒は「序盤緊張しているように見えたが、練習の成果が出た出来だと思う」とのこと。

競技終了後、選手に自分の作品の出来や感想を聞くと「緊張した。作品はいつも通りの出来だと思う」（松尾さん）「疲れた。作品は50%くらいの出来だった」（薮田さん）と話してくれました。顧問の久保先生に話を伺うと「選手の二人、お疲れ様でした。電工の難しいところは作業が多いところ。出来は一人は大きなミスがあったから不安」とそれぞれの選手について話してくださいました。

結果は松尾さんが最優秀賞、薮田さんが優良賞。

電気工事部門

▼最優秀賞の松尾さん


◀優良賞 薮田さん

さらなる上を目指して
最優秀賞 優秀賞 電子回路組立部門

長崎工業高校で行われた電子回路組立部門。本校からはJ3の岩永怜也さん、一ノ瀬優貴さん、長D2の土師桜輝さん、長岡優太さんの四名が出場しました。

競技開始前は各選手、使用する機具の確認、作業台の整理等を行い競技開始を待っていました。競技が開始されても会場はとても静かで、小さな作業音だけが聞こえており選手の真剣さが感じられました。

結果は、岩永さんが最優秀賞、一ノ瀬さんが優秀賞を受賞。岩永さんが九州大会の出場権を獲得しました。

大会終了後、各選手に感想を聞きました。「落ち着いてできた。まずまずといったところ。これからは全国を見据えて頑張りたい」（岩永さん）「緊張した。負けてしまった。相手が岩永でよかった。岩永には自分の分まで頑張ってほしい」（一ノ瀬さん）「基盤のミスはほとんどなかったがプログラムが出来なかったので、今後はプログラムを全体的に学習していきたい」（土師さん）「基盤に凡ミスがあった。課題二からプログラムが出来なかったのでこれから練習したい。タイピングが速度も上げたい」（長岡さん）とそれぞれの想いを語ってくれました。

また、各選手に指導をしてきた先生方に感想を聞くと、「競技のどのようなところが難しいか伺うと「ここまでは予定通り。上へ進んでいくと次の段階で感じた。電子回路は咄嗟の判断力が問われるなど難しいが、それを忘れるくらいの面白さがある」（山口先生）「よく出来ていたがケアレスミスがあった。しかし、緊張の中よく作ったと思う。指定された通りに設計し、組立てること。気温などではんだの付き方が変わることが難しいと思う。プログラムはひらめきが必要なのでそこも難しい」（宮崎先生）「来年に向けてしっかり準備してほしい。論理的な思考力が必要で課題通りに作ることが難しいと思う」（小川先生）と話してくださいました。

電子回路部門

▲最優秀賞 岩永さん
▲優秀賞の一ノ瀬さん

プラスチックと地球温暖化

七月に入ってから暑い日が続きます。他県では気温が40℃超えたところもあるとか。長崎県でも35℃近くまで気温が上がった日があります。日本の多くの地域で高温注意報が発令され、毎日のように「熱中症」のニュースが流れています。そして異例の逆走コースを通った先日の台風十二号。異常気象は日本だけでなく、世界でも。カナダでは東部で熱波と高湿度による死者も出る一方で西部では突然、氷点下1℃まで下がる冬の気候に逆戻りする現象が起きています。

私たちを巡る自然環境の変化。それは地上に留まらず、海でも起きています。海洋プラスチック、廃棄物や海洋ごみにより、海洋環境が悪化しています。これを阻止するために、今年の六月にカナダで開催された「G7シャルルボア・サミット」で「G7海洋プラスチック憲章」が採択されました。

大手コーヒーチェーン店スターバックスの「プラスチック製使い捨てストローの使用廃止」。最近のニュースで目にした人もいるかもしれません。マクドナルドも別の素材でストローをつくることができないか試験的な使用が開始されています。また、買い物のときに利用する「レジ袋」。レジ袋一枚当たり、作るための原油は十八ミリリットル、焼却の際に出る二酸化炭素が約六十グラム排出されます。たかがストロー、たかがレジ袋、なんて思うかも知れませんが、プラスチックの減量は二酸化炭素の削減、石油資源の削減などに繋がり、それが地球温暖化改善に繋がり、私たちの命に関わってきます。

海に囲まれた洋国家である日本ですが実は、「G7海洋プラスチック憲章」への署名をまだしていません。プラスチックの弊害の大きさが分かっている今、まずは私たちから、身近なものを買うとき、使うとき、少し立ち止まって考えて行動していくことが大切ではないでしょうか。

夏の暑さは続きます。とりあえず、熱中症に気をつけ、この夏を乗り切りましょう。

（上杉）

今日の一枚
～島原工業での発見～

今日の一枚は、ものづくりコンテスト会場である島原工業高校で撮った写真です。

各競技中、新聞部員は窓の外から選手の様子を見ていました。そのとき目についたのが、窓際の小さな植木鉢と植物たち…。その中に紛れ込むカップラーメンのカップ（と植物）。植木鉢が足りないのか、カップが代用されていました。これに初めは拍子抜けしましたが組み合わせの意外性に惹き込まれ、つい和んでしまいました。

（中野）

青春日記

この記事が読まれている日、新聞部は長野県にいます。待ちに待った全国総文祭。長崎より北にある長野、去年の仙台のように、涼しければいいなぁ……。

青春弾ける夏休みですが、三年生はそれぞれの進路実現のため、七月中ずっと補習。進学組は八月の初めまで。

ある日のこと。憂鬱な気持ちで登校すると、家を出るときにかけていたメガネが見当たりません。どうやらバスの中に置いてきたらしい…多分。どうしようもないので、そのまま補習を受けたものの、その日は黒板の文字が読めず、大変でした。補習を終え、足早に公衆電話へ。バス会社にメガネが届いているか問い合わせましたが、回答はまさかのNO。oh…NO……。ひとまず親の電話番号を伝え、「もしかして盗まれた？」と不安な気持ちでいっぱいでしたが、家に帰ると、ちゃんとありました。私が電話した後にバスの中で見つかり、私の家から最寄りのバスターミナルへ届いていたそうです。

夏休みもいよいよ折り返し、後半戦が始まります。「八月三十二日」があるわけでも「起きたらまた同じ日」なんてファンタジーなことがあるわけでもありません。課題もあります。「明日があるさ」と後回しにしている私。ほとんど非常に危険です。何故こうも課題というのはやる気が起きないのか。わかる人がいたら教えてください。対処法と一緒に。長期休暇は課題が多いから嫌です。

（渡部）

裏面へ続く

期末考査編

てふ工生！！！ パート③

～ジェラシー～

※覚え方にはご注意を！

表彰台独占 叶わず

優秀賞 優良賞 化学分析部門

長崎工業高校にて行われた化学分析部門。本校からはC3紙崎浩誠さん、C2中島颯人さん、C2川口ももかさんが出しました。

▲優秀賞の中島さん

競技開始前の会場は張り詰めた空気で満ちていて、選手からも緊張が伝わってきました。

結果は中島さんが優秀賞、紙崎さんが優良賞でした。惜しくも表彰台独占は叶いませんでした。

大会終了後、選手たちに感想を聞くと「全力を出せたので悔いはない。作品も、練習の成果を発揮した良い出来だった。来年は優勝してほしい」（C3紙崎）「入賞できると思っていなかったので、とても嬉しい。序盤に失敗してしまったので、焦らないように改善したい。もし来年も出場できるなら、優勝を目指して頑張りたい」（C2中島）「本番では結果が残せなかったが、自分にとって良い経験になった」（C2川口）とそれぞれの思いを語ってくれました。

三人の選手を指導してきた末永先生は「残念な結果だった。しかし、どの選手も皆一生懸命で頑張っていた。失敗や悔しい気持ちを今後に生かしてほしい」と励ましの想いが入った言葉が返ってきました。

多くの人に見守られ 二年連続受賞

優秀賞 旋盤部門

▲優良賞の紙崎さん

P3の山田悠斗さんと、M3の井川征尚さんが出場した旋盤部門。会場は島原工業高校で行われました。観客は会場の外からの応援でした。

外からでも強く感じる油の匂いに、響き渡る機械音。多くの先生方や保護者の方々が見守る中、会場は緊張した空気に包まれていました。汗を流しながら真剣に自分の作品と向き合う選手達。その様子を応援していた顧問の宮崎先生に、競技中の作品の出来を聞いたところ「いつも通りの作業で、良いと思う」と話してくださいました。競技を終えた選手達も、清々しい表情で会場から出てきました。

結果は、P3山田さんが優秀賞受賞。受賞した山田さんに感想を聞くと「二年連続受賞できたので、嬉しいです」と笑顔で答えてくれました。

惜しくも九州大会出場はできませんでしたが、納得する作品ができた様子でした。

▲優秀賞の山田さん

短時間での勝負

優良賞 木材加工部門

島原工業高校で行われた木材加工部門。本校からはA3永田栞太さん、A2荒木翔来さんが出場しました。会場内は緊張で静まり返り、のこぎりや木槌の音だけが響いていました。会場の外は、応援に来ていた生徒や保護者の方で埋め尽くされるほど。応援に来ていた生徒に見た感想を聞くと「作業姿がかっこいい」「勉強になる」と答えてくれました。しかし、顧問の小川先生に途中状況を伺うと「作業が遅れている。時間に余裕がない」という少し厳しい言葉も。

▲優良賞の荒木さん

競技終了後、選手に気持ちを聞くと永田さんは「時間内に完成することはできたが、ミスがありとても悔しい。良かったところもあったが、材料に傷をつけてしまった」とのこと。また、荒木さんは「作品は少し悪い出来。一番最後に終わったので皆に見られて恥ずかしかった」とのこと。

結果はA2荒木さんが優良賞を受賞。「頑張って練習してきたので嬉しい。もう少しやり方を考えたい」と喜びの表情で話してくれました。

来たれ 未来の長工生！

今年も大盛況！

H30学校説明会

ブリックホールで七月八日に行われた学校説明会。今年の来場者数は保護者が392名、中学生が292名、合計684名でした。参加人数は昨年よりも多く、立ち見で説明を聞く必要があるほどの盛況となりました。

会場でテクノパビリオンに参加していた各科の代表、ロボット研究部、機械工作部の生徒に話を聞きました。

質問内容
①展示の内容
②中学生の反応

機械科

①技能検定で製作した作品、旋盤で使う部品の展示。専門授業の風景写真。
②興味を持ってもらえた。積極的に話を聞いてもらえた。

機械システム科

〈造船〉
①株式会社大島造船所の方々と一緒に作った船の模型の一部を展示。
②みんな興味津々で、驚いていた。
〈電子機械〉
①シーケンス制御の紹介。
②中学生よりも保護者の方がよく見られていた。「機械科とどう違うのか」という質問が多かった。

電気科

①インバーターの説明。
②イマイチ理解してもらえなかった気がする。

工業化学科

①石鹸を配る。C科の説明が書かれたボードを見せる。
②良かったです。

建築科

①一年間の行事の写真や科で習得する資格の紹介。資格試験等で製作した作品の展示。
②中学生の人も保護者の方も建築科に興味を持ってくれた。話を聞いて質問をしてくれる人がいた。

▲旋盤で使う道具の説明（M）

▲真剣に聞く中学生

インテリア科

①実習などで製作した物、卒業設計などの展示。
②展示品に興味を示してくれて、楽しそうだった。男子も多くいて嬉しかった。保護者の方がよく質問してくださった。

電子工学科

①シーケンス制御を使った「Nゲージ」の紹介。
②少し緊張していたけど興味津々で、ものづくりへの意欲があった。

情報技術科

①ものづくり大会のデモや、過去にプログラミングで制作したゲーム体験。
②シューティングゲームが特に人気だった。ソースコードにも興味を持ってもらえた。

中学生や保護者の方にも聞いてみました

《中学生》
「オープンスクールが楽しみになった／ビデオが分かりやすかった／部活動紹介が格好良かった／詳しい事が分かり、ためになった／良い説明が聞けた。進学したい気持ちが強くなった／実習の話をもっと聞きたかった／楽しそうだった」

《保護者の方》
「長工の生徒が自身の体験談を含めた説明をしていて分かりやすかった／代表生徒の発表が素晴らしかった。一人一人に拍手を贈りたいくらい／聞きやすかった」

今年度の学校説明会も生徒、保護者から好評でした。来年はどんな新入生が入学してくるのか、今から楽しみです。

シリーズ ロボコン道 ⑨

一年生の健闘

▼考案した卍型の脚部

現在、ロボット研究部は秋に行われるロボットコンテストに向けて活動しています。その中で、一年生の担当はリモコン型ロボットの製作です。しかし、当初予定していたスケジュールに間に合っていないので、大急ぎで作業を進めています。一年生にとっては、今回のロボットコンテストが初めての大会です。それに向けて日々努力しています。去年の成績は三位入賞と予選敗退でした。大会で好成績を残せるように頑張ります。（大隅）

一年生な☆日々

皆さんはじめまして。材木（ざいき）です。パソコンの変換で、「ざいき」と打っても漢字が変換されませんでした。最終的には、私も認めるしかなく「ざいもく」で漢字を変換しました。無念。そんな私がいよいよ書くこととなった一年生な日々。私にとっては初めてとなります。ここにきてはやくも不安です。書き終える前に力尽きないよう、頑張りたいと思います。

さて、月も変わり、七月。改めて一学期を振り返ってみました。緊張で震えていた入学式。私が入った学科には同じ中学校の生徒が多いなかったので、初日、半分泣きそうになりながら登校しました。女子が少ないということもあり、友達はすぐにできたので本当に安心しました。安心したのも束の間。すぐに実力テストが。散々な結果に終わり、その分中間テストで巻き返し、親からの雷を避けることに成功。しかしまたすぐに、期末テスト。結果は……。赤点は免れたのでは良しとしますが、何だったのテストの思い出が沢山な一学期でした。

私がこの夏、やりたいことといえば補習がないやっと眠れます……。平成最後になる夏を皆さんも楽しみましょう。（材木）

編集後記

夏はイベントもの宝庫。新聞部も全国総文祭へ行きますし、オープンスクールや各運動部の大会もあります。紹介することが多くあるのは嬉しいことですが、それを全て編集するのは少し骨が折れます。新聞部の努力、しかと目に焼き付けてください。